

田口佳史さんに問う 【日本人の普遍思想『言志四録』】



講師

東洋思想研究家
株式会社イメージプラン代表取締役社長

田口 佳史 Yoshifumi Taguchi

江戸の教養人が紡ぎ出した、現代日本人への箴言

『言志四録』は、江戸後期の碩学・佐藤一斎が、儒家思想をはじめとする数々の中国古典を咀嚼・吸収し、日本人の普遍思想として紡ぎ出した叢書です。

本講座では、田口佳史さんが『言志四録』を中心に、佐藤一斎の著作の

中から現代への箴言となる珠玉の言葉を抄録して解説します。仕事や人間関係など人生の諸問題に関連づけて考え、納得するまで問答し、私たちが失いつつある日本人として

の「普遍の真理」を探ります。

田口 佳史

10/1 月

第1回

18:30～21:30

学びとは終わりなき修養

一斎は、少・壮・老、人生のそれぞれの時期に、それぞれの学びの意義があると説いています。また頭ではなく心で学ぶこと、草木や月花などあらゆるものからも学べることを教えてください。三千人の門下生を教え導いたという一斎から、人生を貫く営みとしての「学び」を学びます。

11/12 月

第4回

18:30～21:30

日本のリーダーシップ

一斎の歴史的評価は、鎖国から開国へと向かう大転換期の先を見据えてリードする、優れた人材を育てあげたことに尽きます。よき伝統を守ること、新しいものを創り出すことは同時にできると説いた一斎の教えを噛みしめながら、転換期を迎えている日本のリーダーシップを問い掛けます。

10/15 月

第2回

18:30～21:30

仕事・課題と どう向き合うべきか

一斎は、卓越した思想家・教育者であったと同時に、優れた仕事人でもあったようです。モノの見方・考え方、時間に対する意識、段取りや優先順位付けなど、私たちが仕事・課題に向き合う際の心得を語っています。多忙を嘆く前にやるべきことがあるはず、そんな一斎の声に耳を傾けます。

11/26 月

第5回

18:30～21:30

先が見えない時代の 人生論

一斎が生きた時代は、二百五十年以上続いた江戸幕藩体制に綻びが目立ちはじめ、先が見えなくなった時代でもありました。混迷の時代に、人間としてどう生きるべきか、何に頼るべきか。漆黒の暗夜を照らし出す一燈さえあれば、人間は歩いていけると語った一斎の人生論を学びます。

10/29 月

第3回

18:30～21:30

人間通であれ

一斎の凄さをひとと言でいえば「人間通」ということです。人間に対する洞察が深く、社会の機微に通じ、ウォームハートとクールヘッドを兼ね備えた人物だったと言われます。激動期に重職を担って、けっして選択を誤ることがなかったという一斎を通して、「人間に通じる」を考えます。

12/10 月

第6回

18:30～21:30

まとめ、現代への箴言 『言志四録』

政治、経済、国際関係等々あらゆる側面で混迷の度合いを深める現代は、西郷が『言志四録』を不遇期の心の糧とした幕末期と重なり合う面が多くあります。中国古典を血肉となるまで自分のものとした、江戸の教養人一斎が著した『言志四録』を、私たち現代人が学ぶ意義を考えます。

佐藤一斎と『言志四録』

江戸時代後期の儒学者・佐藤一斎は、卓越した学識を誇り、幕府直轄の学問所「昌平黌」の儒官(校長役)を務め、その広い見識は、儒家思想のみならず陽明学、老荘思想、孫子兵法にまで及びました。山田方谷、佐久間象山、横井小楠等逸材を輩出し、西郷隆盛、吉田松陰、河井継之助等、薩長から幕府側まで、数多くの幕末維新の偉人達が影響を受けたと言われています。

『言志四録』は、一斎が四十年以上に渡って書き連ねた、『言志録』『言志後録』『言志晩録』『言志叢録』の四巻、千百三十三条に渡る箴言集です。

開 催 概 要

日 程	2012年10/1、10/15、10/29、11/12、11/26、12/10(すべて月曜日)
回 数	6回
時 間	18:30～21:30(3時間)
定 員	25名
会 場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	105,000円(税・教材費込)
お勧めしたい方	・古典思想をビジネスや人生に役立てたい方 ・生きる上での哲学や価値観の重要性を認識し、醸成したい方

講 師 プ ロ フ ィ ー ル

田口 佳史(たぐち よしふみ)

1942年東京生まれ。新進の記録映画監督として活躍していた25歳の時、タイ国バンコク市郊外で重傷を負い、生死の境で「老子」と出会う。奇跡的に生還し、以降中国古典思想研究四十年。東洋倫理学、東洋リーダーシップ論の第一人者。企業、官公庁、地方自治体、教育機関など全国各地で講演講義を続け、1万人を超える社会人教育の実績がある。1998年に老荘思想的経営論「タオ・マネジメント」を発表、米国でも英語版が発刊され、東洋思想と西洋先端技法との融合による新しい経営思想として注目される。

●主な著書

『孫子の至言』『老子の無言』『論語の一言』(すべて光文社)

※これまでに慶應MCCで開催された講座の講義内容が書籍になりました。

『リーダーの指針 東洋思想』(かんき出版)、『清く美しい流れ 日本人の生き方を取り戻す』(PHP研究所)、『タオ・マネジメント 老荘思想的経営論』(産調出版)

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項をご記入の上、FAXにて送信して下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。本申込書の受領をもって、その内容を承諾いただいたものと見なします。

参加者

講座名	
会社・団体名	
所属	
フリガナ	
氏名	
住所 (資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いづれかにチェックを入れて下さい) 〒
TEL	-
FAX	-
e-mail	

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費のお支払いのないことをもってキャンセルとはなりません。キャンセルの際は必ずご連絡下さい。◆開講28日前まで：キャンセル料は発生しません。◆開講27日～21日前まで：参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講20日～14日前まで：参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講13日前以内：参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。ただし、当方の都合で開催を中止する場合は全額返金いたします。また、お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報のご提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。

<http://www.keiomcc.com/keiomcc/privacy.html>

なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等がございましたら、右記までお問い合わせください。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agora.net/>

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込(振込手数料ご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度 (個人申込のみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 この欄に他講座を記入して下さい []
<input type="checkbox"/> 継続受講割引
<input type="checkbox"/> 慶應カード割引

■割引制度(個人)

【複数申込割引】…一度に複数の講座へお申し込みされる場合、参加費を最大20%割引いたします。慶應MCCで開催する「知的基盤能力プログラム」や「先導・専門プログラム」との組み合わせも対象となります。(「夕学五十講」を除く。)

◆20%割引：105,000円(税込)以上の、「agora」および「知的基盤能力プログラム」を複数同時に申し込んだ場合

◆10%割引：上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合

【継続受講割引】…過去慶應MCCの講座・プログラムに参加し、終了日より1年以内にお申し込みをされた場合、参加費を10%割引いたします。(「夕学五十講」を除く。)

【慶應カード割引】…慶應カード会員の方が個人でお支払いいただく場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

■割引制度(法人)

「agora」およびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(「夕学五十講」を除く。)詳しくは下記までお問い合わせ下さい。 ※一部適用されない場合がございます。

〈お問い合わせ先〉

東京都千代田区丸の内2-5-2

三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会 TEL:03-5220-3111

E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきます。

ご不要の方は右記にチェックをお願いします。